えがお

55号
2020年

令和2年10月発行

オタモイに咲く大輪。
利用者様・職員・地域の方々に感謝と元気を!!

社会福祉法人 小樽育成院　運営理念

基本的人権の確保と擁護

～人間を大切にするサービスの提供～

- 利用者様の自立した生活を支援するためのサービスを提供します。
- 利用者様の生活と生き方を尊重したサービスを提供します。
- 利用者様中心のサービスを提供します。

発行／　社会福祉法人 小樽育成院

〒048-2671 小樽市オタモイ1丁目20番18号
TEL: (0134) 28−2500 (代)　FAX: (0134) 26−2476
URL: http://www.otaru-ikuseiin.com　小樽育成院　検索

社会福祉法人 小樽育成院　令和元年度事業・決算報告について

法人の事業運営については、将来の安定したサービス提供を目的にオタモイケアプランセンターを4月から長橋地域に移転し事業展開を図りました。

また、設備の故障が要因になりましたが、デイサービスセンターを令和２年1月末に休止し、3月末に廃止いたしました。

このような状況の中、法人全体の収支状況については以下のとおりです。

収入に関しては、サービス活動収益で1,114,059千円となり、前年度対比11,409千円減少しました。

支出に関しては、サービス活動費用は前年度対比13,234千円減少の1,089,061千円となり、サービス活動増減差額は24,997千円で前年度より1,824千円増加しました。

収支については、前年度は大口の寄付金があり、経常経費寄付金収益が18,579千円減少している中、経常増減差額は前年度を2,119千円下回るものの、30,436千円を確保しました。

新型コロナウイルス感染症の影響によって停滞している経済状況の中、令和3年4月には介護保険制度改正が予定されております。従前の社会保障制度を維持することが難しい環境の下、厳しい制度改正となる事が予測されることから、情報収集に努めながら、体制等の改善について検討を進める必要があります。

法人単位貸借対照表（令和2年3月31日現在）

（単位：円）

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増　減		当年度末	前年度末	増　減
流動資産	511,241,015	500,564,374	10,676,641	流動負債	98,075,555	98,793,298	△ 717,743
現金預金	372,737,554	373,738,938	△ 1,001,384	事業未払金	37,494,075	34,527,003	2,967,072
事業未収金	134,182,109	122,745,444	11,436,665	1年以内返済予定設備資金借入金	21,504,000	21,504,000	0
未収補助金	3,677,000	3,574,000	103,000	預り金	0	640	△ 640
前払金	13,265	0	13,265	職員預り金	277,480	5,361,655	△ 5,084,175
前払費用	621,087	505,992	115,095	賞与引当金	38,800,000	37,400,000	1,400,000
その他の流動資産	10,000	0	10,000				0
固定資産	1,483,047,199	1,522,339,206	△ 39,292,007	固定負債	273,844,070	297,091,930	△ 23,247,860
基本財産	1,278,398,874	1,314,045,288	△ 35,646,414	設備資金借入金	173,586,000	195,090,000	△ 21,504,000
土地	28,026,892	28,026,892	0	退職給付引当金	100,258,070	102,001,930	△ 1,743,860
建物	1,250,371,982	1,286,018,396	△ 35,646,414	負債の部合計	371,919,625	395,885,228	△ 23,965,603
その他の固定資産	204,648,325	208,293,918	△ 3,645,593	純資産の部			
土地	1,968,421	1,968,421	0	基本金	222,861,910	222,861,910	0
建物	10,133,477	10,045,376	88,101	第１号基本金	222,861,910	222,861,910	0
構築物	1,675,108	942,199	732,909	国庫補助金等特別積立金	733,758,249	769,620,164	△ 35,861,915
機械及び装置	1	87,869	△ 87,868	その他の積立金	49,367,223	61,307,141	△ 11,939,918
車輌運搬具	2,547,366	4,451,390	△ 1,904,024	人件費積立金（措置）	9,000,000	9,000,000	0
器具及び備品	28,525,857	9,243,610	19,282,247	修繕積立金（措置）	0	7,000,000	△ 7,000,000
建設仮勘定	0	9,180,000	△ 9,180,000	備品等購入積立金（措置）	2,000,000	7,000,000	△ 5,000,000
ソフトウェア	3,278,193	2,061,948	1,216,245	建設積立金	38,367,223	38,307,141	60,082
投資有価証券	600,000	600,000	0	次期繰越活動増減差額	616,381,207	573,229,137	43,152,070
長期貸付金	1,550,000	940,000	610,000	（うち当期活動増減差額）	31,212,152	33,447,182	△ 2,235,030
退職共済預け金	100,258,070	102,001,930	△ 1,743,860				0
人件費積立資産（措置）	9,000,000	9,000,000	0				0
修繕積立資産（措置）	0	7,000,000	△ 7,000,000				0
備品等購入積立資産（措置）	2,000,000	7,000,000	△ 5,000,000				0
建設積立資産	38,367,223	38,307,141	60,082				0
長期前払費用	4,744,609	5,464,034	△ 719,425	純資産の部合計	1,622,368,589	1,627,018,352	△ 4,649,763
資産の部合計	1,994,288,214	2,022,903,580	△ 28,615,366	負債及び純資産の部合計	1,994,288,214	2,022,903,580	△ 28,615,366

法人単位事業活動計算書（（自）平成31年4月1日（至）令和2年3月31日）

（単位：円）

勘定科目			当年度決算（A）	前年度決算（B）	増減（A－B）
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	826,446,208	808,565,626	17,880,582
		老人福祉事業収益	283,714,790	296,257,488	△ 12,542,698
		障害福祉サービス等事業収益	1,200,820	408,700	792,120
		その他の事業収益	1,339,516	300,000	1,039,516
		経常経費寄附金収益	1,357,949	19,937,111	△ 18,579,162
		サービス活動収益計 (1)	1,114,059,283	1,125,468,925	△ 11,409,642
	費用	人件費	676,219,020	669,170,490	7,048,530
		事業費	186,142,949	193,644,652	△ 7,501,703
		事務費	185,111,002	186,193,972	△ 1,082,970
		利用者負担軽減額	4,986,145	4,768,014	218,131
		減価償却費	72,464,089	96,501,386	△ 24,037,297
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 35,861,911	△ 47,982,885	12,120,974
		サービス活動費用計 (2)	1,089,061,294	1,102,295,629	△ 13,234,335
	サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2)		24,997,989	23,173,296	1,824,693
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	86,302	86,613	△ 311
		その他のサービス活動外収益	8,742,637	12,863,604	△ 4,120,967
		サービス活動外収益計 (4)	8,828,939	12,950,217	△ 4,121,278
	費用	支払利息	1,620,485	1,754,222	△ 133,737
		その他のサービス活動外費用	1,769,488	1,812,648	△ 43,160
		サービス活動外費用計 (5)	3,389,973	3,566,870	△ 176,897
	サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)		5,438,966	9,383,347	△ 3,944,381
経常増減差額 (7)=(3)+(6)			30,436,955	32,556,643	△ 2,119,688

勘定科目			当年度決算（A）	前年度決算（B）	増減（A－B）
特別増減の部	収益	固定資産受贈額	0	3,913,421	△ 3,913,421
		固定資産売却益	1,019,999		1,019,999
		特別収益計 (8)	1,019,999	3,913,421	△ 2,893,422
	費用	固定資産売却損･処分損	244,806	3,022,883	△ 2,778,077
		国庫補助金等特別積立金取崩額（除却等）	△ 4	△ 1	△ 3
		特別費用計 (9)	244,802	3,022,882	△ 2,778,080
	特別増減差額 (10)=(8)-(9)		775,197	890,539	△ 115,342
当期活動増減差額 (11)=(7)+(10)			31,212,152	33,447,182	△ 2,235,030
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 (12)		573,229,137	509,842,037	63,387,100
	当期末繰越活動増減差額 (13)=(11)+(12)		604,441,289	543,289,219	61,152,070
	基本金取崩額 (14)		0	0	0
	その他の積立金取崩額 (15)		12,000,000	30,000,000	△ 18,000,000
	その他の積立金積立額 (16)		60,082	60,082	0
	次期繰越活動増減差額 (17)=(13)+(14)+(15)-(16)		616,381,207	573,229,137	43,152,070

法人単位資金収支計算書（（自）平成31年4月1日（至）令和2年3月31日）

（単位：円）

勘定科目			予算（A）	決算（B）	差額（A-B）
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	823,550,000	826,446,208	△ 2,896,208
		老人福祉事業収入	283,280,000	283,714,790	△ 434,790
		障害福祉サービス等事業収入	1,200,000	1,200,820	△ 820
		その他の事業収入	2,950,000	1,339,516	1,610,484
		経常経費寄附金収入	1,330,000	1,357,949	△ 27,949
		受取利息配当金収入	60,000	86,302	△ 26,302
		その他の収入	7,330,000	8,742,637	△ 1,412,637
		事業活動収入計 (1)	1,119,700,000	1,122,888,222	△ 3,188,222
	支出	人件費支出	667,600,000	662,641,130	4,958,870
		事業費支出	188,470,000	186,142,949	2,327,051
		事務費支出	194,570,000	185,111,002	9,458,998
		利用者負担軽減額	5,350,000	4,986,145	363,855
		支払利息支出	1,700,000	1,620,485	79,515
		その他の支出	2,160,000	1,769,488	390,512
		事業活動支出計 (2)	1,059,850,000	1,042,271,199	17,578,801
	事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)		59,850,000	80,617,023	△ 20,767,023
施設整備等による収支	収入	固定資産売却収入	1,000,000	1,020,000	△ 20,000
		施設整備等収入計 (4)	1,000,000	1,020,000	△ 20,000
	支出	設備資金借入金元金償還支出	21,600,000	21,504,000	96,000
		固定資産取得支出	46,985,000	47,210,092	△ 225,092
		固定資産除却･廃棄支出	100,000	0	100,000
		施設整備等支出計 (5)	68,685,000	68,714,092	△ 29,092
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)		△ 67,685,000	△ 67,694,092	9,092

勘定科目			予算（A）	決算（B）	差額（A-B）
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	12,000,000	12,000,000	0
		その他の活動による収入	220,000	719,425	△ 499,425
		その他の活動収入計 (7)	12,220,000	12,719,425	△ 499,425
	支出	長期貸付金支出	810,000	610,000	200,000
		積立資産支出	100,000	60,082	39,918
		その他の活動による支出	12,900,000	12,177,890	722,110
		その他の活動支出計 (8)	13,810,000	12,847,972	962,028
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)		△ 1,590,000	△ 128,547	△ 1,461,453
予備費支出 (10)			6,700,000	0	6,700,000
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)			△ 16,125,000	12,794,384	△ 28,919,384
前期末支払資金残高 (12)			460,675,076	460,675,076	0
当期末支払資金残高 (11)+(12)			444,550,076	473,469,460	△ 28,919,384

※決算報告の詳細については、社会福祉法人小樽育成院や全国社会福祉法人経営者協議会のホームページでご覧いただけます。

雪あかりの路。幻想的です。

中庭も整備され、オシャレなガーデニング
風景が広がっています。

正面玄関前の花壇。たくさんのきれいな
花々がお出迎えします。

上／新型コロナウイルス対策で面会制限をしております。

中／感染対策に十分注意し開催しました。

下／敬老の日にちなんで敬老お茶会を行いました。

特別養護老人ホーム　やすらぎ荘

小樽市オタモイ1丁目20番18号
TEL（0134）28-2500　FAX（0134）26-2476

令和2年のやすらぎ荘の活動について

やすらぎ荘では、ユニット型特養の特徴を生かし、利用者様一人ひとりの生活に寄り添った「ユニットケア（個別ケア）」の取り組みを進めています。

今年は、新型コロナウイルスのため、利用者様やご家族へ不便をおかけしていますが、目に見えない恐怖と戦いながら、対策について日々検討しております。

令和2年の現在までのやすらぎ荘の活動についてご報告いたします。

2月…毎年恒例の「雪あかりの路」を行いました。今年は雪が少なく、大きな物は作成できませんでしたが、たくさんの光が利用者様を優しく包み込んでくれました。

3月…新型コロナウイルスが猛威をふるい、施設での面会制限が始まりました。

5月…敷地内の桜が満開に咲きました。花クラブを発足し、玄関前、中庭の整備を行いました。

6月…コロナ禍の中、やすらぎ荘の開設50周年を迎えました。記念として植樹式が行われ、エゾヤマザクラが植えられました。

7月…『独楽』として数十年に渡り施設内広報誌を発行していましたが、50周年という節目を迎え、リニューアルし『広報紙やすらぎ』として生まれ変わりました。

8月…法人行事として『オタモイ花火大会』を開催しました。ソーシャルディスタンスを意識しながら、利用者様に花火を鑑賞していただきました。

9月…敬老お茶会を行いました。感染症予防のため、各ユニットそれぞれに企画を行い、敬老の日のお祝いをしました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、行事やサークル活動が中止となる中、少しでも利用者様に楽しんでいただきたいという思いで、できることを企画し、行っています。

落ち着くまでにはまだしばらくかかりそうですが、新型コロナウイルスに十分に気をつけて、少しずつでも日常が戻れば良いなと思っております。

上／アクリル板で区切り新しい形での麻雀。

下／パークゴルフの腕前にびっくり！

待望のカラオケ！距離をとって、マスク・消毒も忘れずに。

新しい生活様式を取り入れたクラブ活動の再開

養護老人ホーム　小樽育成院

小樽市オタモイ1丁目20番20号
TEL（0134）26-0162　FAX（0134）26-2874

養護老人ホーム小樽育成院では、その方が有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように、社会復帰の促進と自立のために必要な活動を行っています。

その一翼を担うクラブ活動では、地域のボランティアの方々の協力を得て運営していますが、令和2年度においては、皆様ご存じのとおり、新型コロナウイルスの影響により、行事やクラブ活動は軒並み中止せざるを得ない状況になってしまいました。

利用者様からは、「まだ、カラオケできないのかい」「このコロナは楽しみを奪ってしまうね」などの声が多く寄せられ、こうした利用者様の声を聴いている職員も心苦しい日々を過ごしてきました。

そんな中、施設では感染対策委員会を中心に、どうすればクラブ活動を再開できるのか、職員同士が知恵とアイデアを出し合いながら、「新しい生活様式を取り入れたクラブ活動」の再開が可能になりました。

活動の実際では、6月からパークゴルフ、8月には華道、9月に入ると要望の多かったカラオケや麻雀を再開。行事では9月に毎年恒例の潮太鼓の皆さんによる演舞、米寿のお祝いもすることができました。

写真にありますように、感染対策としましては飛沫防止のための工夫とアルコール消毒を徹底しています。活動に参加した利用者様からは、「いや～やっぱりいいね。前の姿に戻ったね」と、喜びの声が寄せられています。

新型コロナウイルスの対応については、正しい情報を利用者の皆様にお届けしながら、少しずつ元の日常に戻ることができるよう、感染症対策をしっかり行っていきたいと考えています。

上／秋空の中、迫力ある潮太鼓に歓喜の声があがる。

下／米寿の祝い、花束とバスタオル・タオルセットのプレゼント。

携帯用アルコールを使用し、訪問の前後など
手指の消毒を行っております。

小樽市北西部地域包括支援センター

小樽市オタモイ1丁目20番18号
TEL（0134）28-2522　FAX（0134）28-2523

包括支援センターでは、新型コロナウイルス感染防止対策として、マスク着用の徹底や定期的な体温測定のほか、ウイルスを「持ち込まない・持ち出さない」という意識の元、日々感染予防の対策を行っています。また、相談などでご自宅に訪問する機会も多いため、各自消毒用アルコールを携帯し、訪問前後は手指消毒の徹底、外出から戻った際の手洗いはもちろんのこと定期的な換気と毎日事務所内の清掃消毒を行っております。

移動は車を利用する事が多いため、使用した車両を降りる際にはハンドルやシフトレバーをはじめ手が触れるところは、アルコールを使用し消毒を行っております。

センターの感染予防対策と介護予防の取り組み

新型コロナウイルスへの不安から、外出する機会が減少し体を動かす事も少なくなり筋力や体力の低下を感じている方も多くいる状況から、楽しみながら運動をする機会を持ち、少しでも筋力や体力の維持向上を図って健康への意識を高めることができるよう『介護予防フェア』を開催しました。

当日は、少し肌寒い気温ではありましたが、気持ちのいい秋晴れの下20名ほどが参加。ストレッチに始まり、座りながらできる筋トレのあと、手や足を使った脳トレと続きました。脳トレでは手と足をそれぞれ違う動きをするのが難しく、思うように手足を動かすことができないため、あちらこちらから笑い声…。参加された方からは、「脳トレは難しかったけど久しぶりに体を動かしてよかったよ」とうれしい感想も聞かれていました。

今回は短い時間でしたが、久しぶりに体を動かすことで気分転換になった方もおられたのではないでしょうか。体力維持や健康への意識が高まり活動的な生活が送れるよう、これからもこのような取り組みを考えていきたいと思います。

上／体を使った脳トレの様子。歌に合わせて手と足、右と左、それぞれ違う動きをしていきます。

下／ストレッチを行っている様子。久しぶりに体を動かす人もいるので十分時間をとってストレッチも行いました。

当センターの職員によるご自宅への定期訪問では、十分な感染予防策を行った上で、（マスクは着用していますが）素敵な明るい笑顔をお届けします。元気をもらえますので楽しみにお待ちください。

オタモイ ケアプランセンター長橋

小樽市長橋2丁目19番17号
フリーダイヤル 0120-514-294　FAX（0134）64-7118

オタモイケアプランセンター長橋では、新しく職員を迎え6名のケアマネジャー（介護支援専門員）体制となっています。

当センター（居宅介護支援事業所）では、地域の高齢者やその家族が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、介護サービスをはじめとした様々なサービスを調整するとともに、医療機関など各関係機関とも連携を図っています。

2019年度末からの新型コロナウイルスの流行によるコロナ禍においても、私たちは月1回のご自宅への定期訪問にて、利用者様やご家族が健康に過ごされていることを確認しております。その際には、皆様の生活を支える専門職として、新型コロナウイルス感染予防策にも積極的に取り組んでおり、マスクの着用やこまめな手洗い、消毒に加え、事務所内の換気、消毒、飛沫防止デスクパーテーションを設置（写真参照）しています。

これまでとは様変わりした生活様式のなかで、心がふさいでしまう状況ではありますが、そのような時こそ私たちは笑顔をたやさず皆様と接していきたいと思っております。日々の生活のなかで心配なことや不安なことがありましたら、遠慮なく当センターまでご相談くださいますようお願い申し上げます。

当センターの職員は、「おもてなし」の心構えで皆様のご相談に応じます。
マスクの下に隠れている素敵な笑顔をお見せできなくとても残念です。

不安な状況だからこそ安心していただけるサービスを

当センターでは電話対応も重要な業務のひとつとなっています。感染予防のため、マスクの着用のみならず、飛沫防止デスクパーテーション（アクリル板）を設置しています。

新型コロナウイルスへの取り組み

右／アクリル板越しの対面面会を行っております。

左／遠方のご家族と「zoom」を活用したオンライン面会を行いました。

小樽育成院

新型コロナウイルスについて、育成院の取り組みを紹介します。

■私たちが始めに行ったこと

利用者様と職員、外部業者等の検温測定による健康管理、マスクや消毒液の必要物品の確保でありました。検温測定では、職務の垣根を越えて介護・看護職員のみならず、相談員や事務局職員が土日・祝日も交代で健康管理にあたっています。

■事業継続計画（BCP）に基づいた行動

施設内では、感染拡大を防ぐため、独立したフロアを設けることができないか検討を進め、東棟1階フロアの利用者様15名の協力を得て居室移動が完了。このフロアでは、万が一感染症が発生した場合に備え、16室の感染専用居室を設けています。居室には、一人ひとり専用に使う物品等を揃え、居室内ですべての生活行為ができるよう環境設定を行っています。

また、職員については、個人防護具の脱衣訓練を一人ずつ行い、手順を示したマニュアルを見ながら何回も何回も脱衣訓練を行ったところです。

■継続を忘れずに

現在においても、職員は出勤前の自己検温、出勤時は各所属長による職員の健康管理を徹底し、利用者様ついては検温測定を毎日実施しています。

引き続き、市内の感染状況を見据えながら、感染対策を緩めることなく取り組んでいきたいと考えています。

やすらぎ荘

特別養護老人ホームやすらぎ荘では、職員が一丸となって新型コロナウイルス感染防止の様々な取り組みを行っています。

■施設運営について

・万が一の発生に備え、様々な対応方法をまとめた『事業継続計画（BCP）』を作成し、全職員に情報共有の周知徹底を行っております。

・事務所はデスクにアクリル板を設置し対策を強化しています。

・毎月、ガウンテクニック研修を開催し、実践現場において繰り返しの訓練を行っております。

■職員の体調管理について

・マスクの着用、手指消毒の徹底に努めています。

・出勤前・就業前に検温・健康をチェックし、体調管理に努めています。発熱や倦怠感などがあった場合、出勤制限（自宅待機）を行っております。

■利用者様について

・面会制限（緊急をやむを得ない方は除く）や外泊制限を行っております。

・アクリル板の衝立越しでの直接面会、パソコン（SNS）を利用した面会を行っております。

・感染防止対策を徹底したうえで敷地内での屋外昼食を実施しています。

寄付金　令和2年4月1日～令和2年9月30日

■法人本部	■やすらぎ荘
福森和千代様	菅原邦治様
石上源應様	高塚　隆様
山岸康治様	清水一彦様

寄贈品　令和2年4月1日～令和2年9月30日

■法人本部	
谷口　聡様	紙オムツ
丸田孝子様	紙オムツ
■育成院	
河原幸枝様	布製マスク
福島　勉様	柔軟剤･おしりふき
小樽みなとライオンズクラブ様	野菜ジュース
小樽双葉高等学校様	マスク
ルタオ様	クッキー、ラングドシャ
■やすらぎ荘	
笠羽圭伊子様	マスク･ウエットシート
大熊昭子様	テレビ･扇風機など
鷹木キヨ様	衣装ケース･タオルなど
片岡みどり様	テレビ
上野山和子様	マスク
畑山和慶様	紙オムツ
北本純一様	紙オムツ
鶴谷知子様	紙オムツ
渋谷明美様	紙オムツ
川瀬義夫様	車椅子･タンス
岩谷朱美様	テレビ･冷蔵庫
長橋中学校生徒会ボランティア様	手作りマスク等

編集後記

コロナ禍で心がふさいでいる今こそ、私たちは誰に対しても「おもてなし」の心をもって接することが必要と感じます。

【想定外の気づかいをすべし】相手の期待をいい意味で裏切るような気づかいをします。

【見返りを求めるなかれ】表裏がない心で見返りを求めず相手を敬い丁寧に接します。

【考える時間をつくるべし】自分の心に余裕をもち、落ち着いてゆっくり自分を振り返る時間をつくります。

この状況下でも、明るく笑顔で過ごせますように。

（T・Sのつぶやき）